

変わらない家づくり。 積み重なる受賞。

今年、受賞の歴史に 新しい1ページ。



4月22日 朝日・読売・日経新聞全15段広告

4月22日掲載の新聞広告、ご覧いただいたでしょうか。その紙面でもご報告したとおり、スウェーデンハウスは本年、(財)日本地域開発センターの「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2007」で、栄えある第1回の大賞を受賞いたしました。省エネ性能や環境へのやさしさなど、住まいの性能・価値を総合的に評価する、いわば時代の最先端をゆく表彰です。

この受賞には、私たちにとって二つの意義がありました。

ひとつは、この賞が国土交通省と経済産業省が同時に後援している

こと。これまでの縦割り行政では建物と設備機器が同時に評価されることはありませんでした。例えば、どんな省エネのエアコンを設置しても建物性能が伴わなければ省エネにはなりません。更に重要なことは、生活スタイルです。部屋ごとにこまめに冷暖房することが省エネと思われがちですが、スウェーデンハウスのような高性能の住宅では全館空調するほうが、より大きな省エネ効果を得られるのです。まさしく、オーナー皆様の住まい方が評価された訳です。

もうひとつは、皆様が普通にお住まいになっているスウェーデンハウスが受賞したことです。お引渡し前の全棟気密測定やヒューズドクトル50など、他社に先駆けて採用したシステムが評価対象になりました。1999年、全棟気密測定に踏み切る決め手は「施工精度が上がるから」でした。机上の計算だけでは快適住空間を保証できないことを知っていたればこそ。

主な受賞歴と導入したシステム

- '91 ▶ 北海道まちづくり100選受賞
- '92 ▶ (財)住宅・建築 省エネルギー機構 省エネルギー住宅賞 硝子織維協会会長賞受賞
- '93 ▶ 北海道まちづくり功労者知事表彰受賞(スウェーデンヒルズ) 越谷市建築景観賞受賞
- '95 ▶ 貿易表彰 内閣総理大臣表彰受賞
- '97 ▶ (財)住宅・建築 省エネルギー機構 省エネルギー住宅賞 建設大臣賞受賞
- '98 ▶ 大宮市景観賞受賞
- '99 ▶ 全棟高性能保障表示システム(CQ+24)開始 北スウェーデン木材基金 協会賞受賞(トーモクヒューズ)
- '00 ▶ 50年間無料定期健診システム(HUS DOKTOR 50)開始
- '02 ▶ 中部電力 エコネットワーク会員特別受賞
- '04 ▶ 地球温暖化防止活動 建設大臣表彰受賞(*住宅メーカーで初)
- '08 ▶ (財)日本地域開発センター ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2007大賞受賞

変わらぬ価値を、 これからもずっと。

例えばスウェーデンハウスは、これまでも様々な賞をいただいてきました。1997年には、「省エネルギー住宅賞」の中でも最も栄誉ある「建設大臣賞」を受賞。

当時はエコロジーという言葉が広く使われ始めるなど、省エネや環境保護への注目が高まった時期でした。また2004年には、住宅

振り返ってみると、これらの賞はいずれも、その時代、その時代の課題をテーマにしているものです。そしてスウェーデンハウスは、その課題をクリアする性能や、解決への貢献が認められて賞をいただけてきました。こうした受賞のために、何か特別なことをしたわけではありません。ずっと変わることなく高い基本性能を持ち続けてきたスウェーデンハウスに、時代のほうが様々な評価を与えてくれたといえるでしょう。

これまでの受賞も、 標準仕様の家。

高性能の家は、断熱性能や気密性能を誇るためのものではありません。快適住空間を提供するための必要条件だから、私たちはここにこだわり続けてきました。

例えば「結露」。カビや家ダニなど、ハウスダストの発生源です。結露は窓だけではありません。放っておくと建物そのものを蝕む家の大敵です。パネルの中が常に乾燥しているように、日本の気候に合わせて工夫しています。

オーナー皆様の信頼を支えに、妥協せずに、頑なに、標準的なスウェーデンハウスを提供してまいります。